

日本人ジャーナリスト欧州招聘事業派遣学生募集について

主催：ロバート・ボッシュ財団

共催：ベルリン日独センター、早稲田大学

本事業の趣旨

ロバート・ボッシュ財団は、日本におけるドイツ・ヨーロッパ関連報道の促進を目指し、2014年3月に第4回日本人ジャーナリスト欧州招聘事業を実施します。本事業では日本のジャーナリストをベルリンおよび欧州内の別の一都市にご招待し、最新テーマに関する取材活動を行なっていただいております。初回 2008 年は「地球温暖化防止」、2 回目 2010 年は「国際競争におけるイノベーション」をテーマにベルリンとブリュッセルで開催し、2012 年は「エネルギーの安定供給」をテーマにベルリンおよびフライブルクで各々 5 日間のプログラムを実施し、好評を博しました。

内容

ベルリン日独センターの協力を得て実施する 2014 年度のテーマは「ドイツとヨーロッパの今」です。ドイツをはじめとするヨーロッパにおいて金融危機が継続するなか、各政府はどのような金融政策および経済政策を敷いているのか？2014 年に実施される欧州議会選挙の意義は？欧州連合（EU）はヨーロッパ市民の日常にどのような影響を及ぼしているか？これまでの欧州統合過程を振り返り、そこから東アジアの統合に関する教訓を導き出すことは可能か？ドイツのエネルギー政策転換の進捗状況は？——以上の様々な問題を五日間のプログラムを通じて多角的視点から取材いただきます。プログラムの開幕は初日にベルリンで開催する、専門家を交えたシンポジウムです。2 日目および 3 日目は政界・経済産業界・メディアの代表者および学識専門家との会談を設定し、ドイツおよびヨーロッパのアクチュアルな政治・経済の動向をご覧ください。4 日目および 5 日目は各ジャーナリスト個別の取材活動に充てます。また、日本出発前の準備として、早稲田大学公共経営大学院において事前研修セミナーも開催します。

対象者

- ・ 募集総数 12 人（そのうち 4 人は早稲田大学が選出する同大学公共経営大学院／公共経営研究科およびジャーナリズム大学院在籍学生、他の 8 人はロバート・ボッシュ財団とベルリン日独センターが協力して募集する経験豊富かつ熱心なジャーナリスト）
- ・ 年齢制限はありません。
- ・ 全行程を通じて語学面でのサポートを用意するため、ドイツ語・英語能力は不問。
- ・ 4 日目および 5 日目の各ジャーナリストの個別取材の取材先を手配するため、応募と同時に各自の取材テーマを可能な限り詳細にお知らせ下さい。本事業実施機関は、各ジャ

ーナリストの取材内容が帰国後に何らかの形で公表されることを望みます。

開催期間および開催地

期間： 2014 年 3 月 17 日から 21 日まで（独日間の渡航日はこれに含まれない）

プログラムの全日程に参加することが義務づけられる。

場所： ベルリンおよび欧州内の別の都市

※2014 年 2 月中旬～下旬に早稲田大学にて実施される事前研修（1 日）への参加必須。

事前研修の詳細日程は追って派遣者へ通知する。

参加費用

日独間往復渡航費のうち 500 ユーロは自己負担。渡航費残高、ヨーロッパ内の移動費、現地での滞在費をはじめとする諸経費はロバート・ボッシュ財団が負担。また、事前研修セミナー出席のための日本国内交通費および東京での宿泊費も支給。

応募要領

応募者多数の場合は、公共経営大学院にて応募書類をもとに書類選考を実施します。選考結果および派遣推薦は 2014 年 1 月中旬にメールにて通知します。

＜提出書類＞

提出書類は PC で作成してください（手書き不可）。

① 登録用紙：公共経営大学院ウェブサイトよりダウンロードし、必要事項を日本語で記入してください。

② 略歴：書式自由、A4 で 1 枚程度。

同じ用紙に個別取材に関する要望（テーマ、取材先、他）も記載してください。

③ 志望理由書：書式自由、A4 で 1～2 枚程度。

＜提出先＞

公共経営大学院事務室

提出方法：gspm@list.waseda.jp 宛てにメール添付にて提出してください。

※メールの件名は「日本人ジャーナリスト欧州招聘事業応募」としてください。

提出締切：2014 年 1 月 6 日 17:00 <締切厳守>

※ プログラムに関するその他の情報は、www.bosch-stiftung.de/journalists-to-germany を参照してください。

以上

2013 年 12 月 26 日

公共経営大学院事務室